

New Hope

～札幌ペンテコステ教会ニュース～

2012年8月

医者が必要とする人

この地上にいた当時、イエス・キリストは指導者層から蔑まれていた人々と食事を共にしました。すると指導者達は、「なぜあんな連中と一緒に食事したりするんだ」と文句を言いました。それに対するイエスの回答は、

札幌ペンテコステ教会

主任牧師 矢巻 邦彦

札幌市中央区南 14 条西 18 丁目 4-5

TEL&FAX 011-561-5072

<http://sapporopk.com/>

丈夫な人には医者はいらない。いるのは病人である。わたしがきたのは、義人を招くためではなく、罪人を招くためである。

(新約聖書 マルコによる福音書 第2章 17節)

というものでした。

自分は丈夫だ、健康だ、と思っている人は医者を求めません。何らかの不安を持っている人が医者にかかり、診断を受け、状態に応じて治療を受けます。同じように、自分は善人だ、正義だ、優秀だ、と思っている人は、イエス・キリストに求めることをしません。自信が無い人、傷を負った人、後ろめたい思いがある人、悲しみや苦しみを抱く人がキリストのもとにやってきて、解決を得ようとします。

あなたは「丈夫な人」でしょうか、それとも「病人」でしょうか。

義人はいない

一方で聖書には、次のような記述もあります。

義人はいない、ひとりもない。

悟りのある人はいない、

神を求める人はいない。

すべての人は迷い出て、

ことごとく無益なものになっている。善を行う者はいない、

ひとりもない。

(新約聖書 ローマ人への手紙 第3章 10～12節)



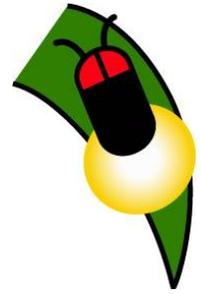
「自分は正しい」「キリストなど不要だ」と思っている人も、本人がそう思っているだけで実際には(神さまの視点から見ると)だれでも「義人」などではなく、本来のあり方から迷いできてしまっている無益な存在なのだと書かれています。

あなたは、自分は富んでいる。豊かになった、なんの不自由もないと言っているが、実は、あなた自身がみじめな者、あわれむべき者、貧しい者、目の見えない者、裸な

者であることに気がついていない。

(新約聖書 ヨハネの黙示録 第3章 17節)

もし自分に心当たりがなくても、吟味して見る必要があるのではないのでしょうか。



キリストが必要

キリストは誰にとっても必要な存在なのです。

まずは、聖書を読んでみませんか。イエス・キリストとは一体何者で、あなた個人とどんな関係がある存在なのか、知ってみませんか。

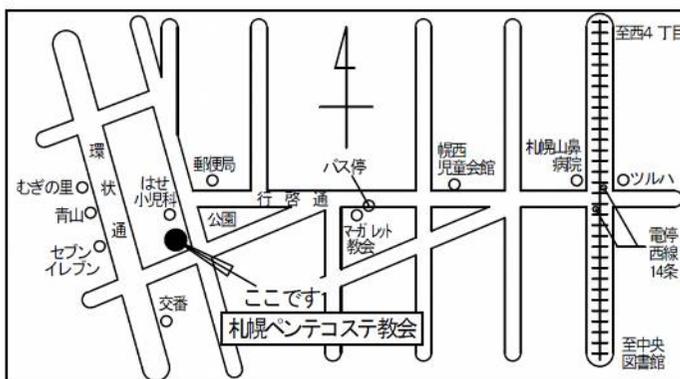
キリストが語ったことは、何かの善行を勧め戒律を守らせるような「宗教」でもなければ、想像上の人物や過去の偉人を通して語られたような「思想」でもありません。「この世の本当のこと」であって「あなたに必要なこと」なのです。

(2人組で「聖書のことをご紹介するボランティア活動をしている……」と訪問してくる人たち、「目ざめよ！」などの冊子を配っている人たちは、「エホバの証人」という宗教団体の関係者です。「キリストの教え」ではなく、創始者の教えを広める事を目的とした「宗教」ですので、あなたがキリストを理解する助けにはなりません。)

教会の定期集会のご案内

- | | |
|--------|---|
| GP クラブ | こどものためのプログラムです。(毎週日曜日 あさ 9:00~10:00) |
| 聖日礼拝 | 聖書を通じて神さまを知ります。(毎週日曜日 あさ 10:30~12:00) |
| 祈り会 | 神さまを賛美し祈り新たな力を受けます。(毎週木曜日 よる 7:00~8:30) |

どの集まりも参加自由、入場無料です。それぞれ、自由献金の時間がありますが、「感謝の気持ちをささげる」ためのもので、各自の自由です。



教会のホームページ

<http://sapporopk.com/>

NewHope のバックナンバーを読んだり、教会の様子を見たりすることができます。

西 4 丁目電停から市電にて
西線 14 条下車

JR 札幌駅札幌ターミナルから、
JR 北海道バス啓明線[51]にて
南 14 条西 17 丁目下車